

まほろば秦野通信

平成28年3月15日

秦野市役所市長室広報課

タイトル	作品募集 郷土の歌人から文化を継承 第29回夕暮祭短歌大会
When (いつ)	作品募集：4月15日（金曜日）まで 表彰式：6月18日（土曜日）午後1時半
Where (どこで)	市立図書館(秦野市平沢94番地の1) 視聴覚室
Who (だれが)	主催 市・教育委員会 協力 秦野短歌会
What (なにを)	図書館では、郷土の歌人、前田夕暮（まえだゆうぐれ）を顕彰してその文学遺産を継承してゆくとともに、短歌による「短歌のふるさとづくり（歌人の里づくり）」事業を推進しています。
How (どのように)	29回目の開催となる今年も、年齢、国籍を問わず多くの短歌作品を募集します。
Why (なぜ)	※なお、詳細は別紙チラシの通りです。 【表彰式（6月18日）概要】 第一部 表彰式 優秀作品の表彰及び選者、歌人で現代歌人協会会員の村岡嘉子（むらおかよしこ）氏、山田吉郎（やまだよしろう）氏による選評。 第二部 講演会 演題(予定)「夕暮と同時代の歌人たち～牧水・啄木・白秋・茂吉～」講師 村岡嘉子 氏
How much (予算)	301,500 円
過去の実績	昭和62年度から毎年開催。 平成5年度 前田夕暮生誕110年記念全国短歌大会として開催 平成23年度 前田夕暮没後60年記念として開催 平成27年度 秦野市市制施行60周年記念事業として開催
今後の取り組み	今後も「短歌のふるさとづくり（歌人の里づくり）」事業の推進を目指し、継続的に開催していきたいと考えています。
問い合わせ	教育部 図書館庶務奉仕班 担当:山口 電話0463(81)7012

第29回

ゆう ぐれ さい

夕暮祭短歌大会

作品募集

はだの

美しい自然と名水のふるさと… 秦野

その秦野が生んだ歌人 前田夕暮を記念して

「夕暮祭短歌大会」の作品を募集します

つるのふらふらとてなうらふらとて
のこらけらけらとて

短冊よみ「出水川あから」のつななれたらつちよりのわきたちこけり 夕暮

題 自由

新作・未発表の作品 1首

はがきに作品・住所・氏名・年齢

電話番号を明記してください

応募締切

平成28年4月15日(金)

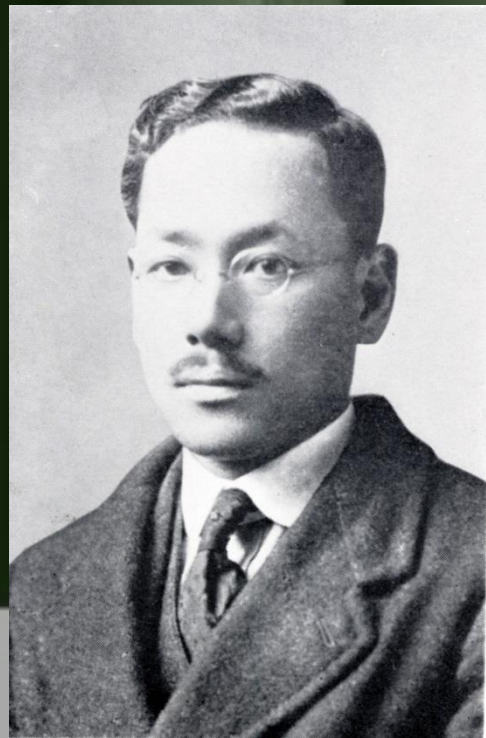
送付・問合せ先

〒257-0015

神奈川県秦野市平沢94番地の1

電話 0463(81)7012

協力/秦野短歌会



主催/秦野市・秦野市教育委員会

第29回夕暮祭短歌大会作品募集要項

美しい自然と名水のふるさと…秦野。

その秦野の生んだ歌人、前田夕暮を記念し、「夕暮祭短歌大会」を開催します。
今年もたくさんのご投稿をお待ちしています。

《 題 》自由題とします。

《投稿のきまり》

- (1) 官製ハガキを使用してください。
- (2) 海外にお住いの方等はインターネットでも投稿できます。
メールアドレス：tosyo@city.hadano.kanagawa.jp
- (3) 自作・未発表の作品に限ります。投稿は1人1首とします。
- (4) ハガキには、作品(1首)、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、電話番号を楷書ではっきりと書いてください。
- (5) 投稿された作品は返却しません。また、投稿後の字句の訂正等はできません。
- (6) 難読漢字及び特殊な読み方をする漢字等にはふりがなをお願いします。
- (7) 入賞者に対しては5月中旬、文書により通知します。
- (8) 同一作品、酷似作品が先行して発表されていた場合には入賞を取り消します。
- (9) 投稿作品に関する著作権は、主催者に帰属するものとします。

《締め切り及び投稿料》平成28年4月15日(金)必着 投稿料は無料です

《選者》村岡嘉子氏(歌人、「韻」編集・発行人、現代歌人協会会員)

山田吉郎氏(歌人、「ぷりずむ」選者、現代歌人協会会員)

《賞》秦野市長賞、秦野市教育委員会教育長賞、選者賞ほか。

《大会(表彰式)》

- (1) 日時 平成28年6月18日(土) 午後1時30分から
- (2) ところ 秦野市立図書館 視聴覚室(神奈川県秦野市平沢94番地の1)
- (3) 内容 (1) 表彰及び講評
(2) 講演：「夕暮と同時代の歌人たち ～牧水・啄木・白秋・茂吉～」
講師：村岡嘉子氏
(講師及び演題は、変更になる場合があります。)

すべての作品を収録した作品集を作成します。郵送ご希望の方は投稿の際ハガキに「作品集希望」と朱書してください(大会後、送料受取人払いにてお送りします)。

《作品のあて先・お問い合わせ先》

〒257-0015 秦野市平沢94番地の1 秦野市立図書館「夕暮祭」係
電話：0463(81)7012 FAX：0463(83)8370

～前田夕暮(まえだゆうぐれ)について～

前田夕暮(本名：洋造)は、明治16年、現在の秦野市南矢名に豪農の長男として生まれました。
22歳で上京、尾上柴舟(おのえさいしゅう)に入門し、文学修業を始めます。その後明治43年に発表した第1歌集『収穫』で一躍その名を馳せ、同じ時期に歌集『別離』を公にした若山牧水とともに「夕暮・牧水時代」と称される自然主義短歌の全盛期を築きました。

その後は歌風の転換を繰り返し、昭和26年に没するまでの間に3万5千首にも上る短歌を遺し、口語による斬新な表現や「自由律短歌」の先駆者として短歌史に大きな足跡を残しています。